

# 韓国2大名節「ソルナル（旧正月）」



2021年2月12日金曜日は旧暦で1月1日、旧正月です。韓国では「ソルナル」とも呼ばれるこの日は「チュソク（旧暦8月15日）」とともに韓国2大名節です。新年の挨拶を交わしながら一年の幸せを願うソルナルについて紹介します。



▲ソウル高速ターミナル（写真：韓国観光公社）

韓国語で「元旦」を意味するソルナル。韓国人は略して「ソル」、もしくは「クジョン（旧正）」とも言います。ソルナル当日を含めて前後3日間は祝日で、韓国では数少ない連休の一つでもあります。

## ソルナルは人口大移動の日

久しぶりに家族と時間を過ごすために帰省する人が多く、高速バスや鉄道、空の便まで満席になりがちです。自家用車で里帰りする人もいますが、多くは公共交通機関を利用します。高速バスや鉄道の場合、大体はソルナル1ヶ月前から公式ホームページや駅窓口でチケット販売が行われますが、競争率があまりにも高いので休みを取って前日から駅窓口に並ぶ人も大勢います。

「人口大移動の日」であるソルナルは普段より移動時間も長くなります。例えば、普段はソウルから釜山まで車で約4時間ぐらいかかりますが、

この時期は約9時間ぐらいかかります。韓国道路公社やナビゲーション会社は毎年帰省ラッシュを避けられる時間帯を発表しますが、それでも交通混雑を避けることは難しいです。サービスエリアでは仮眠室を設けたり、凧あげなどの伝統体験のイベントを開催して長距離運転で疲れた人たちに楽しさを提供します。

## ソルナルの朝はトッククを

ソルナルの朝は日本のお雑煮にあたる「トックク」を食べます。「トックク」は主に牛肉で味を出したスープ（グク）にスライスした餅（トック）を入れて錦糸卵や肉、海苔等で飾った韓国の伝統料理です。家庭によっては韓国餃子を入れるところもあります。

いつからソルナルにトッククを食べたのかは正確な記録として残ってはいませんが、上古時代以前から食べていたという説があります。また、伝統年中行事や慣習を記録した朝鮮時代「東国歳時記」を見ると、トッククはソルナルの朝に必ず食べる料理として記録されています。現在もその慣習は守られています。



▲トックク（写真：韓国観光公社）

## 改めて、新年あけましておめでとうございます！

新正（西暦1月1日）に続き、ソルナルも「セヘボンマニパドウセヨ（新年あけましておめでとうございます）」と挨拶を交わします。

ソルナルは目上の人に「セベ（ひざまづくお辞儀）」をする慣習があり、セベを受けた人は祝福の言葉である「トクダム（徳談）」とお年玉を上げます。子供たちにとって一番楽しいソルナルの行事かもしれません。



▲セベ（写真：韓国観光公社）

待ちに待ったソルナルですが、韓国政府は感染症の拡大を防ぐために帰省や外出などを自粛するように呼び掛けています。会いたかった家族に「来年のソルナルは一緒に過ごそう」と伝え、静かなソルナルを迎える人が多いでしょう。来年は家族が集まってトッククを食べてセベをし、トクダムを交わす風景が見られることを願います◎



**作成者** 北九州市韓国国際交流員 姜 志守（カン ジス）

姉妹都市である韓国・仁川広域市出身。2017年4月から国際交流員として北九州市で働いています。今年のトッククはトック多め、餃子多めにしました◎